

経営学科

福山平成大学
経営学科

NEWS LETTER

产学連携による実践的学び:「中小企業研究」授業の展開

課題解決型学習

「中小企業研究」は、商工団体との協力のもと、地域の中小企業を深く理解することを目指すアクティブラーニング型授業です。この授業は2年生を対象にしており、企業が直面する経営上の課題に対して、学生たちが具体的な改善策を考案し、その提案を企業に直接提示する機会を持ちます。今年度は、株式会社タテイシ広美社および日鐵鋼業株式会社のご協力を得て、両社の経営者から貴重な講義を受け、企業訪問を通じて実務を学びました。

若者が魅力を感じる中小企業へ

授業では、立石会長（株式会社タテイシ広美社）と能登社長（日鐵鋼業株式会社）から出された、備後地域の中小企業への若者の就職促進という課題に取り組みました。学生たちは、若者の都市部への移住願望、製造業の転職率および離職率、外国人労働者の数などのデータを分析しました。さらに、SNSを使った採用活動の強化、育児支援を含む職場環境の改善など、具体的な解決策を提案しました。これらの提案が中小企業経営者にとって有益であることを心から願っています。



企業側の説明に聞き入る学生



経営者に熱心に質問する学生



工場見学する学生